V字回復への改革 紹介

――― 東信経済倶楽部

キリン元副社長 田村さん講演



講演する田村潤さん＝多治見市虎渓山町、とうしん学びの丘エール

東濃信用金庫（多治見市）の取引先でつくる東信経済倶楽部は、講演会を同市虎渓山町のとうしん学びの丘エールで開いた。キリンビール元副社長の田村潤さんが「キリンビール最下位支店のV字回復から学ぶ勝つための組織改革」をテーマに語った。

田村さんは1995年、シェアが4割を切り社内で全国最下位だった高知の支店長に就任、2001年にトップを奪還した。講演では、スタッフ10人で店を回り年5万人の客の声を聞いたと話し、行動する大切さを紹介した。

数値目標ではなく「高知県民にキリンを飲んで幸せになってもらう」という理念を掲げ、全ての飲み屋に商品を置いてもらうことを目指した。広告に土佐弁のキャッチコピーを使い支持を広げたという。「思いついたことは全てやった。少ない予算や人員を乗り越えようとする時にイノベーションが起きる」と説いた。

「人は誰かのために役立っていると実感できる環境では、使命感を持って頑張れる。自社の存在意義を皆で議論し、何をすべきか考えさせて」と訴えた。講演会は451回目。経営者ら約100人が耳を傾けた。

（小森直人）

無断複製・転載を禁じます